



平成25年度奈良県森林技術センター研究成果発表会

「里山再生のために

ー里山の持続的管理と利用を目指してー」

ポイント

- ・ 里山は、かつて、私たちの生活のなかで、さまざまに使われてきました。しかし、近現代の私たちの暮らしが変化していくなかで、里山の存在、そのものが見失われつつあります。
- ・ 里山の新しい使いみちを見つけ、里山を私たちの暮らしに役立てることにより、里山と地域社会の関係を再生することについて考えたい。

森林総合研究所関西支所は、奈良県森林技術センターと共催で「里山再生のために！ー里山の持続的管理と利用を目指してー」を下記開催概要により開催します。森林に関心のある多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開催概要

1. 日 時： 平成26年 2月21日（金）13:30～17:00
2. 場 所： 奈良県森林技術センター研修館（高市郡高取町吉備1）
3. 内 容： 別紙パンフレットのとおり
4. 参加費： 無料（※先着80名）
5. 申込方法： 参加ご希望の方は、FAX又はE-mailでの事前申込をお願いします。
（申込期限）平成26年 2月14日（金）
（申込先） 奈良県森林技術センター
Fax：0744-52-4400
E-mail：shinrin-tc@office.pref.nara.lg.jp

問い合わせ

独立行政法人 森林総合研究所関西支所：支所長 吉永秀一郎
広報担当者：森林総合研究所関西支所 産学官連携推進調整監 奥田裕規
問い合わせ先：森林総合研究所関西支所 連絡調整室長 高橋公子
Tel：075-611-1201（代） Fax：075-611-1207

本資料は、京都府記者クラブに配付しています。



平成25年度奈良県森林技術センター研究成果発表会

里山再生のために



～里山の持続的管理と利用を目指して～

日時 平成26年2月21日(金) 13:30～17:00

場所 奈良県森林技術センター研修館 (高市郡高取町吉備1)

〈特別講演〉

「里山林再生をめざした社会実験」

独立行政法人 森林総合研究所関西支所 主任研究員 奥 敬一 氏

〈成果発表〉

- ◆ 竹材を主成分とするバイオマスプラスチックの開発
森林技術センター 副所長 伊藤 貴文
- ◆ ニホンジカが冷温帯落葉広葉樹林において中大型獣と林分構造に与えた影響
森林資源課 主任研究員 若山 学



〈話題提供〉

- ◆ 竹材の利用と流通 鹿児島・福岡県の事例紹介
木材利用課 総括研究員 増田 勝則
- ◆ 奈良県における木質バイオマス実証実験事業
奈良の木ブランド課 課長補佐 室垣内 清明
- ◆ 萌芽更新による里山林の再生
総務企画課 主任研究員 迫田 和也



参加費
参加申込

無 料 (※先着80名)

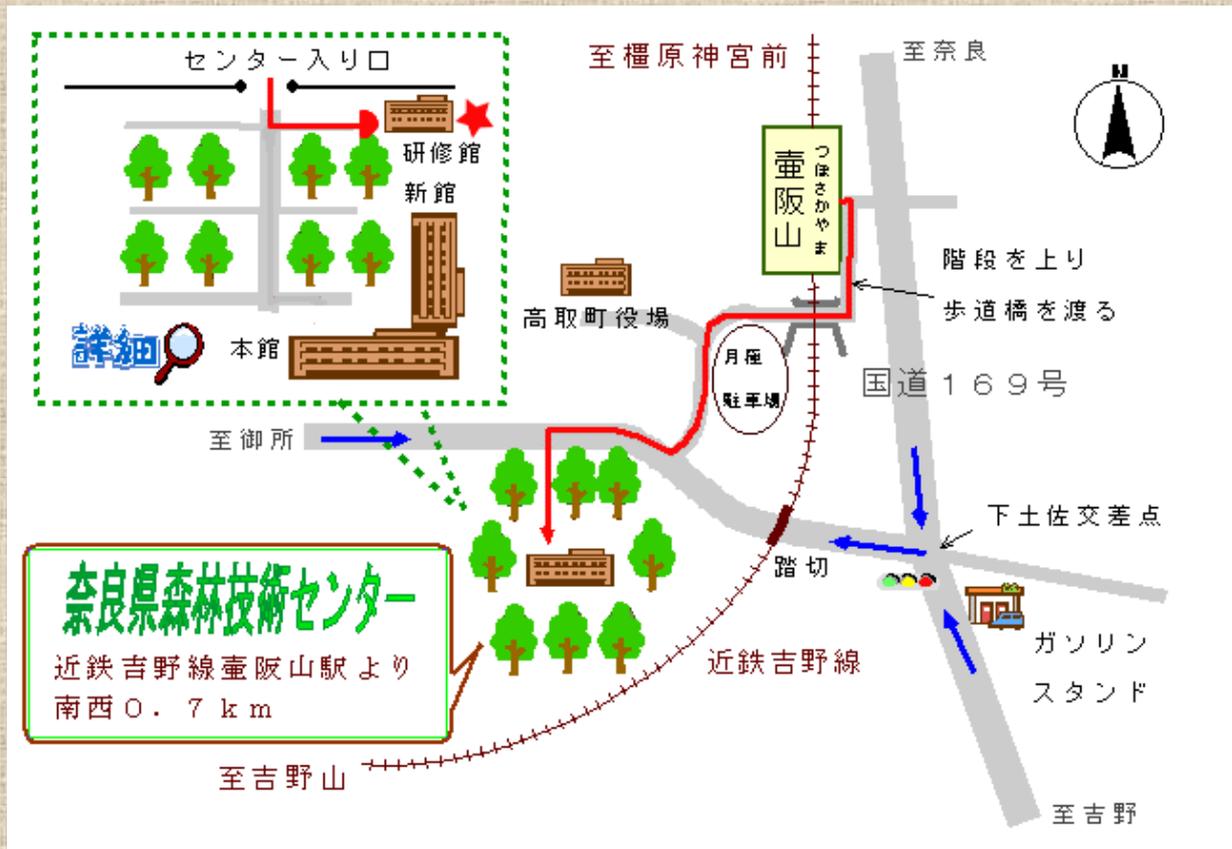
参加ご希望の方は、参加申込用紙に必要事項をご記入の上、
FAXまたはE-Mailで森林技術センター宛お申し込み下さい。



問い合わせ先 奈良県森林技術センター 総務企画課総務係
TEL:0744-52-2380

主催：奈良県森林技術センター 共催：独立行政法人 森林総合研究所 関西支所

会場への案内図



平成25年度 奈良県森林技術センター研究成果発表会 参加申込書

【参加申込締め切り】 2月14日(金)

所属(会社名又は機関名)	
氏名	
連絡先(電話番号・E-Mail)	

※申込書の受け取り連絡、参加証発行はいたしません。

FAX : 0744-52-4400

E-Mail : shinrin-tc@office.pref.nara.lg.jp

※上記申込内容を記載の上メール送付をお願いします。